

琉球泡盛海外輸出 プロジェクト 行動計画

平成 30 年 3 月 7 日

平成 31 年 4 月 14 日改定

令和 2 年 4 月 10 日改定

令和 2 年 10 月 19 日一部改定

1. 行動計画

【現状と課題】

泡盛製造業は、沖縄の貴重な地場産業として、雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしています。

しかし、沖縄県酒造組合、泡盛酒造所を始めとする泡盛製造業関係者による、琉球泡盛の消費拡大に向けた取組にもかかわらず、近年、出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれています。

こうした中で、平成30年4月、これまで、国、県、関係団体がそれぞれに支援してきた琉球泡盛の輸出に向けた取組を官民一体となって推進促進するため、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げました。

また、2019年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」等では、「琉球泡盛輸出量倍増に取り組むなど、沖縄県産酒類の振興を促進する」とこととされるなど、本プロジェクトは、沖縄の振興を図る上でも、大きな柱の一つとして位置付けられています。

一方、昨今の新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大に伴う活動の制約を踏まえ、非対面・遠隔での取組を一層推進することが必要となっています。

【プロジェクトの取組】

「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」では、泡盛製造業関係者が自ら定めた「3年後に倍増」計画（泡盛輸出数量を2020年に70キロリットル、2022年に100キロリットル）を実現するため、泡盛の輸出拡大への課題に取り組み、泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組を官民一体となって後押ししています。

昨年に引き続き、泡盛酒造所に対するプロモーションや商談の実施などの支援を実施した結果、2019年には21社の酒造所が琉球泡盛の海外輸出を行い、総輸出量が約44キロリットルと、2017年の29キロリットルと比べて約1.5倍にまで増加するなど、取組の成果は着実にあがっています。

一方、本プロジェクトの目標である2020年の泡盛輸出数量70キロリットルを達成するためには、今年1年間で約1.6倍に増加させる必要があります。

そのため、国内外の状況も踏まえつつ、これまでの「訪日外国人に対する視点」、「海外市場に対する視点」、「具体的な商流につなげるビジネスの視点」といった3つの視点での取組の強化・深化を進めていきます。その際、非対面・遠隔での取組も推進していきます。

①訪日外国人に対する視点

「本格焼酎・泡盛の輸出基本戦略」（平成28年3月日本酒造組合中央会）にあるように、まずは外国人、特に中国本土を始めとするアジアからの観光客に琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることにより「泡盛ファン」を増やすとともに、沖縄県内でスムーズに琉球泡盛を「観光土産」として購入できるように、取組を進めていきます。

さらに、外国人が現地で「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として、琉球泡盛の普及につなげることができるように、現地での情報提供や、提供者・販売者への支援に向けて取組を進めていきます。

②海外市場に対する視点

琉球泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラなどと並んで、世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められています。琉球泡盛の北米、欧州の市場への浸透を図るために、「テロワール」や、空手や琉球料理を始めとする沖縄の歴史や文化も含め、ターゲットを絞ったプロモーションを進めることにより、琉球泡盛の認知度向上に向けた取組を進めていきます。

③具体的な商流につなげるビジネスの視点

琉球泡盛の海外での販路拡大に向けて、インポーターやディストリビューターなど輸出入のノウハウ・販路を有する様々なビジネスセクターと泡盛事業者とのマッチングといったビジネスサイドが主体となった取組を促進していきます。

【会員の取組】

プロジェクト会員は、3つの視点を踏まえながら相互に連携し、それぞれが以下の取組を行います。

(1) 情報発信の強化

- ・ 沖縄県酒造組合の公式サイト「琉球泡盛」で、インバウンドの観光客及び海外消費者を対象に、琉球泡盛の基礎的な情報を伝えるための、多言語対応した酒造所ごとの紹介PV動画とともに、各地域と各酒造所を組み合わせたオンライン観光施策など、オンラインとオフラインを結びつけるコンテンツの発信に努めていきます。(沖縄県酒造組合)
- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。((一財)沖縄観光コンベンションビューロー)
- ・ 国税庁等の施策において、酒造技術の専門家である鑑定官を講師派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等、施策の目的に沿った説明を実施することで情報発信の強化を図ります。(国税庁)
- ・ 外国人インフルエンサーを活用した琉球泡盛のPR動画を製作し、インフルエンサーのSNSから発信して琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、泡盛の需要を開拓します。(国税庁、沖縄国税事務所)
- ・ 在沖外国人に対する琉球泡盛のPRを実施し、琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の需要を開拓します。(沖縄国税事務所)

- ・泡盛のクイーンズサポーターの委嘱、外国人に対応した情報発信ツールの整備を行い、それらを効果的に活用することで琉球泡盛の魅力を発信します。(沖縄国税事務所)
- ・海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内(特に沖縄)への海外バイヤー招へいの機会等を活用して、泡盛の海外情報発信を強化し、泡盛の輸出促進を図ります。((独)日本貿易振興機構)
- ・各海外事務所及び委託駐在員のネットワークを活用し、現地における泡盛に関する情報発信を積極的に行います。((公財)沖縄県産業振興公社、沖縄県)
- ・ポータルサイト等を活用し、本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行います。(プロジェクト事務局)

(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

- ・インバウンドの観光客や在沖外国人を主体とした国別客層ペルソナ調査分析について、泡盛業界のブランディングについてグランドデザインを作成し、泡盛業界の課題や将来の方向性、また中長期戦略の整理などを行ったうえで、再度、国別客層ペルソナ調査分析を検討します。(沖縄県酒造組合)
- ・各国のバイヤーが来場する大型酒類展示見本市として、ツーリズム EXPO をはじめ、フーデックス(酒造組合中央会枠で出展)や沖縄の大交易会などへ出展検討及び調整を図っていきます。(沖縄県酒造組合、沖縄県)
- ・インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、泡盛タイアップ施策を行います。(沖縄県酒造組合)

- ・ 沖縄国際物流ハブ活用推進事業、沖縄大交易会、海外事務所による現地サポートなど沖縄県産業振興公社の有する中小企業支援メニューを最大限活用し、泡盛酒造所の海外展開・市場拡大を支援します。（（公財）沖縄県産業振興公社）
- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 米国、台湾での泡盛取扱い業者への輸出とその業者と県内メーカーとの調整を行います。（（株）沖縄県物産公社）
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）
- ・ 海外市場において、泡盛製造業者が主体となって、琉球泡盛の輸出を促進するための新たな販路開拓等の事業を実施します。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県）
- ・ 沖縄発の世界ブランドである空手と泡盛の関係性を活用し、世界の空手愛好家等をターゲットとした市場拡大に取り組みます。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合）
- ・ 沖縄総合事務局が有する支援メニューの活用、関係機関との連携を行い、欧米への販路拡大を図る企業の取り組みを支援します。（内閣府沖縄総合事務局）

- ・輸出に積極的な泡盛事業者に対し、琉球泡盛を効果的にPRできる国際的な酒類展示見本市への出展支援を行い、海外バイヤーとの輸出取引成立に向けた支援も行うことで販路拡大を図ります。(国税庁)
- ・海外の酒類関係者に対して、オンライン等を活用し、琉球泡盛の魅力等を伝えます。更に、海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の市場拡大に繋がります。(国税庁)
- ・輸出関心事業者の相談を受け、海外マーケット情報、規制・手続等に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援等による輸出の成約に向けた取組を支援します。(農林水産省、(独)日本貿易振興機構)
- ・泡盛業界の関心の特に高い国・地域等を対象に、セミナー等による情報提供や展示会・商談会出品支援に取り組みつつ、特に個社支援を強化することで泡盛の着実な輸出増加を図ります。((独)日本貿易振興機構)

(3) 品質・技術の向上／人材の育成

- ・泡盛の魅力を的確に伝えられるとともに、狙った香味を作り出すことができる人材を育成するため、国税事務所鑑定官の協力のもと、より効率的な官能講座実習を開催することなどにより、泡盛の香味を正確に識別判断(「香味の可視化」)できる人材育成を行っていきます。(沖縄県酒造組合)

- ・ 沖縄県卸売酒販組合連合会の会員に対しW e b 研修を実施し、泡盛知識の向上を図るとともに外国人に対する商品説明能力の向上に取り組みます。(沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所)
- ・ 沖縄県小売酒販組合連合会の会員に対しW e b 研修を実施し、外国人に対する販売力の強化に取り組みます。(沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所)
- ・ 品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質の向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表します。(沖縄国税事務所)
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金(工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等)に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。(沖縄振興開発金融公庫)【再掲】

(4) ブランド力の向上

- ・ 琉球泡盛の価値を明確化し、組合員へ一貫した取組を促していくことで、琉球泡盛の「ブランディングの基礎構築」に取り組んでいきます。(沖縄県酒造組合、沖縄県)
- ・ 地理的表示(琉球)を活用したブランド力向上を図る普及啓発活動を行います。(沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所)
- ・ 古酒の更なるブランド力向上を推進していくために、古酒の魅力の情報発信を実施していきます。(沖縄県酒造組合)

- ・琉球泡盛と酒器との繋がりを体験してもらうための、那覇市壺屋での「やちむん祭り」と、タイアップを行い、歴史文化の側面から泡盛の普及啓発を促していきます。(沖縄県酒造組合)
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金(工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等)に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。(沖縄振興開発金融公庫)【再掲】
- ・在外公館では、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRを行います。また、泡盛に特化した事業の企画・実施に取り組みます。また、本省では、在外公館からレセプション等開催に際した泡盛を含む日本産酒類の調達希望を受け、コンクール受賞酒等を調達・送付します。(外務省)
- ・泡盛の国内外・老若男女への普及促進に向け、PR、プロモーション等他関係先・弊社グループ各社との連携を含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図ります。(日本トランスオーシャン航空(株))
- ・琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするために、テロワール(地域に根ざした原料調達)を推進します。(内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JAおきなわ、JA沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省政策統括官、農林水産技術会議事務局)
- ・県産長粒種米により製造される琉球泡盛を活用し、海外での琉球泡盛の認知度を向上させるため戦略的なプロモーションを実施します。(内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合)

- ・日本遺産「琉球王国から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして芸能」を活用し、歴史的、文化的な側面から泡盛の認知度向上を図る取組を進めていきます。(沖縄県)

(5) 輸出環境の整備

- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、泡盛製造業者の個別の資金需要に対応します。(沖縄振興開発金融公庫)【再掲】
- ・輸出の妨げとなっている各国・地域の関税・非関税障壁の削減・撤廃に向けて関係省庁で連携して取り組みます。(外務省、国税庁)
- ・中国への「琉球泡盛」商標登録の手続きについて取り組んでいきます。(沖縄県酒造組合)

(6) インバウンドとの連携

- ・クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「泡盛講座」を開催し、泡盛への理解促進と泡盛の購入促進に取り組みます。(沖縄県酒造組合)
- ・各地域と各酒造所の繋がりを見出す酒蔵ツーリズム（島酒ツーリズム）のコンテンツを充実し、各酒造所と地域連携による横断的な取り組み施策を構築していくことや、また、実際に現地へ訪問ができなくても、オンライン上で疑似体験が出来るような施策やサブスクリプション（定額制施策）などと連携を図りながら、地域の主体性を考慮した協業的な酒蔵ツーリズムを啓発していきます。(沖縄県酒造組合)

- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 外国人観光客に対する琉球泡盛の普及拡大等の取組みについて、沖縄県と沖縄県酒造組合とが共催する泡盛振興推進部会の構成団体（（公財）沖縄県産業振興公社、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー等）と連携することにより、沖縄県酒造組合が実施する事業をより効果的に進めていきます。（沖縄県）
- ・ これまでの取組を踏まえ、訪日外国人観光客の満足度及び消費額の向上を図るべく、泡盛の酒蔵見学ガイドツアー造成等、泡盛に関する酒蔵ツーリズム振興を関係機関とも連携しながら実施します。（観光庁）

2. 具体的な行動

- ・プロジェクト会員は、それぞれ「1. 行動計画」に記載した内容を実現するため、2020年まで、以下のとおり具体的な行動を実施します。

(1) 情報発信の強化

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	消費者向け提案型集約サイトを確立 【沖縄県酒造組合】	ポータルサイトの改修によりスマホ対応や、多言語対応、また各酒造の提供コンテンツをまとめた、消費者向けの提案型集約サイトを確立。(日々更新)	既存のHPの改修や、映像及び動画撮影による、各酒造所のPV等制作。 また、各酒造所の旬な取り組みや施策が情報発信できるようなメディアとしての活用も同サイトで実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・全酒造所の特徴を紹介するHPを制作。また、インバウンド観光客向けに、わかりやすいHPサイトの閲覧環境の整備を実施。 ・各酒造所を紹介する動的ペーを作成。動的ページの多言語対応は未着手。 ・島酒ツーリズム推進に向け、地域と酒造所のコンテンツ充実を図るための枠組み検討。 	<p>47の酒造所を紹介するPVの多言語対応を実施。各言語の導入ページから、多言語対応したPVが閲覧できるように視聴環境を整理していく。</p> <p>※PVの多言語対応として【英語・簡体語・繁体語】を実施。</p> <p>個々の消費者に対して、タイムリーに訴求することが求められる中で、今まで以上に、SNSなどの動画配信や、各地域と酒造所を組み合わせたオンライン観光施策などの制作と情報発信に努めていく。</p>	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
2	観光客に向けた情報発信【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	観光情報発信を目的とする多言語パンフレット、多言語WEB、多言語SNS等において泡盛の紹介を行う。	9月4日古酒の日、11月1日泡盛の日のOCVBが運営するSNSにおいて、英語圏、フランス語圏、ドイツ語圏を対象に古酒や酒造所パス等の紹介記事を発信。	OCVBで運用する観光情報サイトにおいて、ヒストリーチャンネルにて作成・放映された泡盛についての動画とそれを元にした泡盛情報のページを公開。多言語SNSにおいては、泡盛の日、泡盛の新品（尚など）、泡盛BONBONシヨコラについて紹介記事を発信。	沖縄の観光コンテンツの情報をオンラインで発信する際に、泡盛の魅力等を特集することを検討。	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
3	海外のイベント等での情報発信【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	海外で実施する各種イベント、旅行博覧会、商談会、観光物産連携事業、沖縄ナイト等において、泡盛の紹介を行う。場合によっては泡盛の試飲も実施する。	沖縄ナイト IN 台湾、韓国、香港の会場内で、沖縄県酒造組合や、県内泡盛メーカーの協力を得て泡盛を提供。	招聘事業での酒造所取材や映像制作事業での取材を実施した。また、中国では旅行会社とのタイアッププロモーションのセミナーで試飲会を実施。フランスやオーストラリアでは委託観光レップや委託駐在に	・海外で開催される説明会等において「泡盛」に関する動画の放映や紹介を検討。 ・旅行社や、メディアの県内への視察、取材においては、泡盛の蔵元廻りなどを積極的に提案し、その実現に導く。	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				より、海外現地イベントにて試飲を実施。 沖縄ナイト in タイにて泡盛を提供した。		
4	国のイベント等を活用した情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	国内外で開催される発信力の高いイベントを活用して琉球泡盛の魅力を発信。	クールジャパン官民連携プラットフォーム総会における、泡盛の女王によるPRを実施。	国内外で開催されるイベント等の機会を活用し、情報発信。	内閣府が実施する国内外のイベント等において、SNSを活用しながら、琉球泡盛の魅力を発信。	【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
5	インフルエンサー等による情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	クールジャパンアンバサダー等を活用し、琉球泡盛の魅力（歴史や文化、製造方法、飲み方等）を広く国内外に発信。	11月1日の泡盛の日に知財事務局 Facebook でクールジャパンアンバサダー等に向けて広く情報発信。	泡盛の日の情報発信や、クールジャパンアンバサダーと大臣による意見交換会を開催。	琉球泡盛の魅力を国内外へ発信するため、SNSの他、クールジャパンアンバサダーを活用。	【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
6	各種施策における鑑定官の講師派遣 【国税庁】	国税庁施策のみならず、他のプロジェクト会員が実施する施策において、依頼に応じて、酒造技術の専門家である鑑定官を講師派遣。	シンガポール、香港、タイの在外公館等で開催された琉球泡盛PR施策に鑑定官を派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等のレクチャーを実施。	①在外公館のみならず、海外で開催される施策の講師派遣依頼に応じて鑑定官を派遣。 ②酒造技術の専門家として琉球泡盛の歴史や製法等、施策の目的に沿ったレクチャー	国税庁等の施策において、酒造技術の専門家である鑑定官を講師派遣し、琉球泡盛の歴史や製法等、オンラインを活用しながら施策の目的に沿った説明を実施。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				一を参加者に対し実施。		
7	情報発信ツールの整備と活用 【国税庁、沖縄国税事務所】	PR動画の作成やパンフレット等の情報発信ツールを整備し、各種PRにおいて活用する。 また、効果的なPRを継続的に実施することで、泡盛の認知度を向上させ、輸出拡大に向けた商流のきっかけを作り出す。	アジアからのインバウンド向けに多言語の「沖縄酒蔵マップ」等を作成。	次の①～④を連携して実施することにより、泡盛の国際的な認知度を向上させ、商流のきっかけを作る。 ①空手等の泡盛のストーリーを盛り込んだPR動画の作成やパンフレット等を多言語化する等情報発信ツールを整備し、各種施策での活用を図る。また、他のプロジェクト会員が実施する施策においても必要に応じて活用した。 ②クルーズ船内にてシチュエーションに応じた泡盛の多様な飲み方の提案等のP	新型コロナウイルス感染症拡大の状況等を踏まえつつ、次の①～③を連携して実施することにより、泡盛の国際的な認知度を向上させ、商流のきっかけを作る。 ①空手等の泡盛のストーリーを盛り込んだPR動画や多言語化した情報発信ツールを各種施策で活用する。また、他のプロジェクト会員が実施する施策においても必要に応じて活用を図る。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				<p>Rを行い、乗客等の興味を引くことにより、SNS等による海外への情報発信を促した。</p> <p>③クルーズ船寄港地にて試飲体験及び常設のPRを実施し、購入機会を提供することで消費の増大を図った。</p> <p>④空港国際線ターミナルにて泡盛講座等の魅力を伝えるイベントを実施することで、外国人観光客等に対して国際的な認知度の向上を図った。</p>	<p>②外国人インフルエンサーを活用した動画を製作し、これを自己のSNSから発信して、琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の認知度向上を図り、需要を開拓する。</p> <p>③在沖外国人に対する琉球泡盛のPRを実施し、琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることで、琉球泡盛の需要を開拓する。</p>	
8	インフルエンサー等による情報発信 【沖縄国税事務所】	泡盛クイーンズサポーターの活用及び泡盛広報ツールの多言語化等により、泡盛の魅力を発信。	歴代泡盛の女王を「泡盛クイーンズサポーター」に委嘱し、泡盛関連イベントに派遣	歴代泡盛の女王を「泡盛クイーンズサポーター」に委嘱し、泡盛の魅力のスピーカー	歴代泡盛の女王等を「泡盛クイーンズサポーター」に委嘱し、国内外の消費者に対して泡盛の魅力の発	【沖縄国税事務所問 税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
			<p>するなど、泡盛の魅力を発信。 アジアからのインバウンド向けに多言語の「沖縄酒蔵マップ」等を作成。</p>	<p>としてプロジェクト各種施策にて活用。 泡盛クイーンズサポーターをプロジェクト等泡盛関連イベントにも派遣し、泡盛普及効果を向上させた。 アジアをはじめとする海外からのインバウンド向け情報発信ツールを作成し、プロジェクト各種施策等にて活用。</p>	<p>信者として有効活用する。 外国人向け情報発信ツールを有効活用する。</p>	
9	<p>海外メディア等を通じた泡盛情報の海外発信 【（独）日本貿易振興機構】</p>	<p>海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内（特に沖縄）への海外メディア・インフルエンサー等招へいの機会等を活用して、泡盛の海外情報発信を強化し、泡盛の輸出促進を図る。</p>	<p>①在外公館等と連携し、海外で泡盛プロモーションイベントを開催。 ②海外バイヤー等の来訪時に泡盛情報を積極的に紹介・提供。 ③泡盛を紹介する英文レポートを作成し、ウェブサイトに掲載。</p>	<p>①関係省庁・団体等と連携し、海外の酒類見本市や関連イベント等で泡盛の情報発信を推進（アジア、欧米等）。 ②海外バイヤー等の来訪時に泡盛情報を積極的に紹介・提供。</p>	<p>コロナ禍においても海外での商談機会（オンライン商談を前提）、また、これまでに人脈のある海外鑑評会の場などを活用して泡盛の情報を海外バイヤーに積極的に発信。</p>	<p>【（独）日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部加工食品・酒類支援課 03-3582-8350</p>

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				③インフルエンサーを活用し、泡盛情報の海外発信を図る。		
10	海外事務所及び委託駐在員のネットワークを活用した泡盛情報の発信 【（公財）沖縄県産業振興公社・沖縄県】	海外事務所及び委託駐在員の配置地域において、関係機関の実施するイベント等と連携し、泡盛の認知度向上を図る	—	—	・海外事務所の実施するイベントや在外公館等の実施するイベントと連携して泡盛プロモーションを実施 ・海外事務所の現地SNS等での泡盛情報を発信	【（公財）沖縄県産業振興公社】 海外・ビジネス支援課 098-859-6238
11	琉球泡盛海外輸出プロジェクト・ポータルサイトの構築 【プロジェクト事務局】	本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行う。	・内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトプロジェクト関連情報を掲載。 ・ポータルサイトをリニューアルし、同サイト内にプロジェクト・ポータルサイトを開設。	・内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報を掲載。 ・プロジェクト・ポータルサイトに掲載する支援情報の拡充。	・内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報を掲載。 ・プロジェクト・ポータルサイトに掲載する支援情報の拡充。	【沖縄総合事務局総務部】 098-866-0047 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	海外へアプローチするためのペルソナ調査分析 【沖縄県酒造組合】	海外顧客市場ニーズへの適切なマッチングを行うために、国別客層ペルソナ調査分析を実施。泡盛業界での共有のターゲット別嗜好指標を作成し、消費者のモチベーションを促すための機会創出の切り口を見出す。また、上記調査を踏まえた上で、海外の方に好まれる、食事のシーンに合わせた酒器などを含む飲み方提案。	インバウンドの観光客や在沖外国人を主体として、国別消費者の属性調査分析を行い、3月15日(金)に業界向けに調査研究別嗜好指標を作成し、各国のアルコールに対する価値観やライフスタイル、また消費形態や情報感度など、消費行動の価値決定基準を報告。	・諸外国ごとの消費者像を提示したうえで、各酒造所に海外展開施策を図る。	泡盛業界のブランディングについてブランドデザインを作成し、泡盛業界の課題や将来の方向性、また中長期戦略の整理などを行ったうえで、再度、国別客層ペルソナ調査分析の実施を検討。 インバウンド観光客を対象としたペルソナ調査をすること自体が困難となっているため、インバウンドプロモーションの実施の際に、消費者嗜好調査も兼ねていくように検討。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	国内の大型酒類展示見本市への出展 【沖縄県酒造組合・沖縄県】	各国のバイヤーが来場する国内での大型酒類展示見本市への出展。	日本酒造組合中央会との連携で「FOODEX JAPAN」への出展をはじめ、県の再興PJと	2019年同様、国内の大型見本市に出展を行い、泡盛の需要開拓の接点を促しながら	各国のバイヤーが来場する大型酒類展示見本市として、ツーリズムEXPOをはじめ、フ	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
			の連携による「ツーリズム expo」への出店を行い、泡盛の普及啓発を行った。	ら、一方で新しいアイディアのコアを見つけるように検討した。	ーデックス（酒造組合中央会）や大交易会などへ出展予定。 上記のツーリズム EXPO をはじめ、フーデックス（酒造組合中央会）や大交易会への出展を予定しているが、これまでのような試飲や試食などの施策は、実施が厳しいため、オンラインとオフラインの使い分けを考慮した対策を行う。	
3	琉球泡盛の普及啓発施策 【沖縄県酒造組合】	インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、泡盛タイアップ施策を行う。 琉球王朝の時代から育まれてきた泡盛の情緒的価値を知っていただくための情	—	—	インバウンド観光客に向けた、琉球泡盛の普及啓発及びブランド向上を促すために、泡盛タイアップ施策を行う。 泡盛と繋がる空手や琉球料理、エイサー、酒器、首里城などの繋がりを周知しな	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		報発信を行う。あわせて試飲や即売会を開催する。			がら、泡盛の酒質の多様性を含めて体験していただくプロモーションを実施。 オンラインとオフラインの活用を考慮しながら、琉球泡盛と結び付きが深い情緒的価値の情報コンテンツを発信していく。 また、オフラインでは沖縄での日本遺産施策と連携を図って、泡盛の情緒的価値の普及促進を図る。	
4	沖縄国際物流ハブ活用推進事業 【（公財）沖縄県産業振興公社・沖縄県】	ANA 航空貨物便の就航地域を中心に、アジア主要都市への県産品の販路拡大を目指す県内企業に対して支援を実施する。	①海外販路開拓支援の一環として、(1)見本市・物産展等への渡航費用の一部補助を実施。 ②海外販路開拓支援の一環として上海輸入博覧会への取り纏め出展。	①以下の項目について費用の一部補助を行った。 (1)見本市・物産展等への渡航費用 (2)海外バイヤー等の招聘費用 (3)現地での販売促進活動費用	各泡盛メーカーへ補助メニューの周知を行い、海外販促活動等への支援を行う。	【（公財）沖縄県産業振興公社】 海外・ビジネス支援課 098-859-6238

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				(4)商品改良に関する費用など (申請期間：4月～2月) ②台湾における見本市への県内企業等による出展を支援した。		
5	沖縄大交易会 【(公財)沖縄県産業振興公社・沖縄県】	沖縄の地理的優位性を活かした国際物流貨物ネットワークの構築・更なる拡大を図る目的で、日本最大規模の「食」をテーマとした国際食品商談会「沖縄大交易会」を開催する。	沖縄大交易会の実施を通じて、酒造メーカーと海外バイヤーの商談を支援。	沖縄の国際物流ハブを活用して海外への輸出促進を図るサプライヤーを日本全国から募集する他、アジアを中心とした国内外のバイヤーを招聘。 (大交易会開催時期：11月(昨年実績)) (サプライヤー募集期間4月～7月(昨年実績))	第8回沖縄大交易会2020の開催についてはインターネットを活用したオンライン商談会開催。 開催期間については、2020年10月上旬～2021年2月末までの約5ヶ月間。 昨年度の参加企業を中心に県内酒造所へ声掛けするとともに、協力機関等と連携し交易会への参加を促す予定。	【沖縄大交易会実行委員会事務局(沖縄県産業振興公社内)】 098-851-7463

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
6	クルーズ船での泡盛の活用促進【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における泡盛の活用を働きかける。	船社側から物産の取り扱い等の問い合わせがあった際に、関係する団体や企業を紹介。(沖縄県酒造組合等)	・4月22日～7月10日(計19便)那覇寄港であったマジスティック・プリンセス号にて、「沖縄魂」というイベントの一環として、泡盛試飲会の開催を提案。 ・沖縄クルーズカンファレンス・商談会2019の開催に当たり、クルーズ船社キーパーソン向けの本部港及び周辺観光地の視察の一部として酒造所見学を行った。	県内におけるクルーズに特化したポータルサイトを開設し、寄港地におけるおすすめルートの一部に酒造所なども紹介を検討する。	【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
7	リゾートウエディングでの泡盛の活用促進【沖縄県】	国内外におけるリゾートウエディング等のプロモーションに併せて、ウエディングにあった泡盛商品の情報発信をする。	「沖縄リゾートウエディングフェア in 台湾」(10月27日～10月28日開催)において、沖縄県酒造組合が製作した琉球泡盛パンフレットを会場で配布。	上海で実施されたウエディングエキスポにおいて、泡盛パンフレット等を活用し、泡盛をPR。	業界や関連団体等と連携し、リゾートウエディングにおける泡盛の利用促進を図っていく	【沖縄県】 文化観光スポーツ部 観光振興課 098-866-2764

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
8	米国向け支援 【(株)沖縄県物産公社】	米国での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整(輸出手配、販促活動等)	現地業者の要望に基づき、広告、見本市出展、試飲会開催を検討。(西海岸中心)	現地業者の要望に基づき、広告、見本市出展、試飲会開催を検討。(西海岸中心)	販路拡大及び輸出拡大に向けた取組を実施。 ※2019度にハワイ向け輸出を完了。販売強化を図る。	【(株)沖縄県物産公社】 海外ビジネス班 098-859-6325
9	台湾向け支援 【(株)沖縄県物産公社】	台湾での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整(輸出手配、販促活動等)	販路拡大及び輸出拡大に向けた商品提案と販促活動の強化。	販売強化や認知度向上のため、見本市や物産展への参加を検討。 2018年度取組の強化。	新型コロナウイルスの影響で渡航ができないため、台湾の取引先との連携を図って、現地でプロモーションなどの実施により販売強化を図る。	【(株)沖縄県物産公社】 海外ビジネス班 098-859-6325
10	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	貸付先:泡盛を製造する者 利率:設備 特別利率、運転 基準利率 貸付期間:設備 20年、運転 7年 据置期間:設備・運転とも 2年 貸付限度額:設備 720百万円、運転 250百万円	①2018年度融資実績:5社、450百万円。 ②2018年度末融資残高:31社、3,212百万円。 ③公庫調査レポート「泡盛メーカーの現状と課題」を踏まえて資金面から支援。	①2019年度融資実績:3社、180百万円。 ②2019年度末融資残高:31社、3,217百万円。 ③海外輸出に向けた運転資金を金利優遇(貸付制度の拡充)。	各事業者の個別の資金需要に対応。 【新型コロナウイルス関連】 新型コロナウイルスの影響を受けている泡盛製造業者に対し、資金繰り支援に積極的に取り組む。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
11	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】	上記のうち、泡盛古酒製成事業に係るものは、 貸付期間：設備20年、 運転10年 据置期間：設備5年、 運転3年 貸付限度額：設備720 百万円、運転480百万 円 と優遇。	2018年度末泡盛古酒製成事業融資残高：8社、432百万円。	2019年度末泡盛古酒製成事業融資残高：8社、420百万円。	各事業者の個別の資金需要に対応。 【新型コロナウイルス関連】 支援メニュー10と同じ。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業 第一班 098-941-1785
12	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	泡盛製造業者については、不動産担保に代わり、泡盛の在庫を担保として提供が可能。	2018年度末泡盛在庫担保制度融資残高：7社、556百万円。	2019年度末泡盛在庫担保制度融資残高：7社、472百万円。	各事業者の個別の資金需要に対応。 【新型コロナウイルス関連】 支援メニュー10と同じ。	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業 第一班 098-941-1785
13	沖縄酒類製造業の自立経営促進事業 【内閣府沖縄振興局・ 沖縄総合事務局・沖縄県】	海外への販路開拓等に向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表すること	①中国市場向けに、白酒として認知させるため、ブランディング、PR、テストマーケティングを実施。	①中国市場向けに、販売ネットワークの構築、流通面の確保等を実施	これまでの取組を通じて明らかとなった課題等に対応するため、各ターゲット向けの取組を深化させ、輸	【内閣府】 沖縄振興局調査金融 担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総務 部

支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
	により、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。	<p>②欧州ハードリカー市場向けに、新しいハードリカーとして認知させるため、ブランディング、PR、テストマーケティングを実施。</p> <p>③泡盛のブランド価値を高めるため、県産長粒種米泡盛を製造。</p>	<p>その他、韓国等のアジア諸国に対象を広げ、PR 活動等を実施。</p> <p>②ハードリカー市場向けに、インポーターの開拓、アメリカ、イギリス、オランダ等の新たな国・地域のマーケットリサーチ等を実施。</p> <p>③県産長粒種米泡盛に加えて、食とのマッチングをターゲットとした PR 活動等を実施。</p> <p>①②③のほか、世界の沖縄出身者や空手家にターゲットを広げたプロモーション事業、ビジネス関係者との連携等を実施。</p>	<p>出拡大のモデル事業を創出する。</p> <p>特に、テロワール泡盛を活用したブランド力等の向上のためのプロモーション等を実施。</p> <p>合計 8 件の事業を委託し、モデル的な事業を実施。各事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、オンラインを中心に実施。</p>	098-866-0047

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
14	空手とのコラボによる市場拡大 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合】	沖縄発の世界ブランドである空手と琉球泡盛の関係性を活用し、空手家を新たなターゲット層とし、市場拡大を検討する。空手関係者との結節点を見出し、関係構築に努めるとともに、新たなマーケティング活動を行う。	PR動画（沖縄空手と琉球泡盛の関係の視点）、フライヤー、泡盛ミニボトルを制作し、「第1回沖縄空手国際大会」（那覇）において海外空手家に対するPR事業の実施。海外空手家に対する情報発信を強化するため、琉球泡盛の販路拡大の視点から沖縄空手の道場等を通して主に外国人空手家らの琉球泡盛に対するアプローチ（愛飲・お土産等）に焦点をあてたPR動画を制作。	2018年度に制作したPR動画を引き続きYouTube等を通じて情報配信。 訪沖する外国人観光客等をターゲットにJTA機内において「泡盛×空手」をテーマとした映像の放映及び機内誌によるプロモーションを実施。	沖縄空手と琉球泡盛の関係性を活かした既存のPR動画等の活用を促進するため、情報発信。 ウェブ広告等を効果的に活用し、海外空手愛好家に対する効果的な訴求点を調査し、今後のプロモーションの土台とする。	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総務部 098-866-0047 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
15	泡盛海外展開支援 【内閣府沖縄総合事務局】	企業の海外展開を支援する「沖縄国際ハブクラスター事業」の一環として、欧米への展開を図る企業4社の取組を支援するため、沖	・11月29日、30日「泡盛海外展開事業展～いいね！AWAMORI～」（沖縄大交易会併催事）実施。	事業進捗に応じ、沖縄総合事務局の有する支援メニュー等を紹介。	新型コロナウイルス感染症の状況等を注視し、マーケティング調査、プロモーション等の支援を検討する。 （欧州、米国）	【内閣府沖縄総合事務局】 経済産業部国際室 098-866-1740

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
		縄総合事務局の有する支援メニューの活用や、関係機関等と連携し、総合的な支援を行う。	・2019 年 3 月オランダ・デンマークにおけるマーケティング調査支援を実施。			
16	海外の大型酒類見本市への出展支援 【国税庁】	各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援。	各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援。	①各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市において出展支援や効果的なPRを実施。 ②出展支援に併せて、各国の酒類専門バイヤーとの輸出取引が成立するよう効果的な支援を実施。 ③各種施策で入手した情報を分析・活用することにより、効果的なビジネスマッチングが行えるよう支援。	①各国の酒類専門バイヤー等が参加する国際的な酒類展示見本市等（オンライン開催）への出展支援や効果的なPRを実施。 ②各国の酒類専門バイヤーとの輸出取引が成立するよう効果的な支援を実施。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
17	琉球泡盛の国際的プロモーション【国税庁】	海外の酒類関係者を沖縄に招聘し、琉球泡盛の魅力等を伝える。更に、海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の市場拡大に繋げる。	—	—	・海外の酒類関係者に対してオンライン等を活用し、琉球泡盛の魅力等を伝える。 ・海外での消費者向けプロモーションを開催し、琉球泡盛の市場拡大に繋げる。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161
18	海外需要創出等支援対策事業 【農林水産省】	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援する。	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援。	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援。	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、オンライン商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援。	【農林水産省】 海外市場開拓・食文化課 03-3502-3408 【(独)日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター — 098-859-7002 農林水産・食品部加工食品・酒類支援課 03-3582-8350
19	泡盛特化型輸出支援パッケージ 【(独)日本貿易振興機構】	泡盛業界の関心の特に高い国・地域等を対象に、セミナー等による情報提供や展示会・	①泡盛輸出促進セミナーを開催。	①泡盛の輸出相談・情報提供を実施。 ②泡盛輸出促進セミナーを開催。	ビジネスの視点をより一層強化し、泡盛企業の商流構築支援を推進。新型コロナウイ	【(独)日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター —

支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
	<p>商談会出品支援に取り組みつつ、特に専門家による個社支援を強化することで泡盛の着実な輸出増加を図る。</p>	<p>②泡盛酒造所と国内輸出会社とのマッチング商談会を開催。 ③海外食品・酒類バイヤー招へい時に、泡盛関係企業との商談会を開催。 ④海外見本市に泡盛関係企業の出品を支援。 ⑤海外各地において泡盛試飲&セミナーなどプロモーション活動を実施。</p>	<p>③海外食品・酒類バイヤー招へい時に、泡盛関係企業との商談会を開催。 ④海外での酒類関連展示会・商談会等（アジア、欧州等）への泡盛関係企業の出品支援。 ⑤着実な輸出を図るため、専門家や海外コーディネーター、国内外事務所等を活用して泡盛関係企業の個社支援を実施・強化。</p>	<p>ルスの感染拡大を踏まえ、オンラインでの情報提供、情報発信、商談会の提供も行う。 ①泡盛の輸出相談・情報提供を実施。 ②泡盛輸出促進セミナーを開催。 ③海外食品・酒類バイヤー招へい時に、泡盛関係企業との商談会を開催。 ④海外での酒類関連展示会・商談会等（アジア、欧州等）への泡盛関係企業の出品支援。 ⑤着実な輸出を図るため、専門家等を活用して泡盛関係企業の個社支援を実施・強化。 ⑥焼酎及び泡盛の海外販路開拓を推進す</p>	<p>098-859-7002 農林水産・食品部加工食品・酒類支援課 03-3582-8350</p>

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
					るプロジェクトにおいて、欧米向けに現地バイヤーとの連携によるプロモーションを実施。例えば、著名な海外酒類コンペティション等を活用した戦略的なプロモーション活動の実施、また泡盛事業者の情報をジェトロのデータベースに登録し海外とオンライン上で随時マッチングを実施する。	
20	沖縄で開催されるタイ・フェスティバルにおける泡盛プロモーション 【沖縄県】	県内開催に向けて調整を進めているタイ・フェスティバルにおいて、タイ米で製造される琉球泡盛を堪能してもらうことで、タイをルーツとする琉球泡盛への関心を高め、タイと沖縄の架け	イベントの開催に向けた関係機関との調整。	・タイ・フェスティバル 2019（東京）に出展し、泡盛の PR を実施。 ・「タイエキスポ沖縄」を開催し、イベント会場に泡盛ブースを設置して、多くの方々に泡盛を PR。	タイ・フェスティバル等において、琉球泡盛のプロモーションのため、ブースを出展。	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		橋となる泡盛の振興に繋げていく。				

(3) 品質・技術の向上／人材育成

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	横断的かつ俯瞰性を兼ねた中核人材育成 【沖縄県酒造組合】	プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る中核人材を育成。	内閣府の沖縄型産業中核人材育成事業を活用し、官能能力の底上げと、的確な商品開発力の向上が図れるように人材育成を行った。	泡盛の香味を正確に識別判断（「香味の可視化」）ができる人材を育成するため、各地域単位で酒造所職員を集めて、官能講座の実習を集中的に実施	<ul style="list-style-type: none"> ・泡盛の香味を正確に識別判断（「香味の可視化」）ができる人材を育成するため、各地域単位で酒造所職員を集めて、官能講座の実習を集中的に実施。 ・各酒造所において復習訓練が行えるよう、訓練用ツールを作成。 <p>ある程度、密閉空間（屋内で外部との遮断が必要）を考慮した上で官能訓練を行うため、研修生を集めての実習ではなく、官能訓練用ツールの普及を急ぎ対応していく。</p>	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	酒類卸売業者の泡盛に関する知識の向上 【沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県小売	沖縄県卸売酒販組合の会員へ泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施。	泡盛に関する基本的な知識の向上及びインバウンド向けの販	研修を実施し、泡盛に関する基本的な知識や商品の説明能力の向上を図る。	泡盛フレーバーホイール等を活用した外国人に対する商品説明能力の向上を目的	【沖縄県卸売酒販組合連合会】 090-1360-8745

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
	酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】		売力向上の研修を実施。		としたウェブ研修を実施する。	
3	訪日外国人に対する販売力強化 【沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	沖縄県小売酒販組合の会員へ訪日外国人への販売力強化を目的とした泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施。	インバウンドに対する接客や陳列方法など泡盛の販売力を強化する研修を実施。	研修を実施し、インバウンドに対する接客や陳列方法などを習得し、泡盛の販売力を強化する。	E C取引の活用方法等に関するウェブ研修を実施して泡盛の販売力を強化する。	【沖縄県小売酒販組合連合会】 098-943-8775
4	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
5	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
6	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路 拡大・市場拡大」を参照				
7	泡盛鑑評会における 品質評価の実施及び 結果公表 【沖縄国税事務所】	品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表。	国税職員や学識経験者等の専門家、外国人審査員も交えて品質評価を実施。その結果は日本語の他、英語及び中国語でも公表。	国税職員や学識経験者等の専門家、外国人審査員も交えて品質評価を実施。その結果は日本語の他、英語及び中国語でも公表。	国税職員や学識経験者等の専門家、外国人審査員も交えて品質評価を実施する。その結果は日本語の他、英語及び中国語でも公表する。	【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601

(4) ブランド力の向上

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
1	琉球泡盛ブランディング構築施策【沖縄県酒造組合・沖縄県】	琉球泡盛の「ブランディングの構築」に取り組んでいきます。	—	—	外部有識者の知見も借りつつ、泡盛業界が主体となって、琉球泡盛の価値を明確化し、組合員へ一貫した取組を促していくことで、琉球泡盛の「ブランディングの構築」に取り組む。 今年度は、次年度実施していく「ブランディング施策」を行う上での市場分析、課題整理等を通じて、ブランディング戦略を構築する。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	沖縄県産泡盛の地理的表示「琉球」の活用促進 【沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	GI「琉球」の事業者における活用、及び消費者向け PR 活動を実施する。	・日 EU・EPA 交渉における GI「琉球」保護の合意、平成 30 年 2 月の指定内容見直し等を契機とする周知啓発イベントを実施。	・引き続きポータルサイトでの地理的表示の周知を図る。 ・酒造組合が行う、催事を始め、様々な発信業務において、地理的	地理的表示（GI 琉球）の周知徹底とあわせて、琉球泡盛のブランディング施策や、各地域泡盛酒造所の酒蔵ツーリズム施策と連動した、情報発信施策	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
			・ポータルサイトにおいて地理的表示の説明ページを設け、周知。	表示の周知・促進を実施。	と連動して、情緒的価値と相まった発信を促進。	
3	古酒ブランド普及啓発施策 【沖縄県酒造組合】	古酒の正しい理解と美味しい古酒の飲酒機会を充実するために、古酒月間として県民に広く推進していく。	古酒の郷の貯蔵ブランド商品化に伴う、市場調査と商品及びネーミング・パッケージ制作などを企画・実施	古酒の日を皮切りに、古酒の日月間（仮称）を沖縄全域対象に飲食店及び業務店の協力のもと販促施策を展開した。	古酒の日を皮切りに、沖縄全域対象に飲食店及び業務店の協力のもと、店舗来場及び飲用機会の充実を図る。 古酒の魅力の情報を発信する企画を検討中。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
4	那覇市壺屋「やちむん通り祭り」タイアップ施策 【沖縄県酒造組合】	琉球泡盛と酒器との繋がりの体験を通じ、泡盛に親しんでもらうため、壺屋での「やちむん祭り」とタイアップを行い、歴史文化の側面から泡盛の普及啓発を促していく。	—	11月2日と3日の2日間、壺屋やちむん通りにて、同イベントでの出店を実施。酒器と泡盛との結びつきに気が付いてもらうためのセミナー及び試飲会を開催した。	泡盛認知度を向上させるため、酒器と泡盛との結びつきを生かしたプロモーションの実施を検討。	【沖縄県酒造組合】 098 - 868-3727
5	米国向け支援【(株)沖縄県物産公社】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
6	台湾向け支援 【(株)沖縄県物産公社】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路 拡大・市場拡大」を参 照				
7	沖縄振興開発金融公 庫貸付制度 (特産品振興貸付制 度) 【沖縄振興開発金融 公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路 拡大・市場拡大」を参 照				
8	沖縄振興開発金融公 庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融 公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路 拡大・市場拡大」を参 照				
9	沖縄振興開発金融公 庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融 公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2)効果的な販路 拡大・市場拡大」を参 照				
10	琉球泡盛のPR 【外務省】	各国・地域の在外公館 では、会食、レセプシ ョン、文化事業等の機 会を活用し、任国要人	全在外公館に対し、本 プロジェクトの立ち 上げについて情報共 有するとともに、各館	2018年度に実施した 泡盛PR事業の効果・問 題点等を踏まえ、在外 公館やジャパン・ハウ	新型コロナウイルス 感染拡大の状況も見 つつ、2019年度に実施 したPR事業の効果・問	【外務省】 経済局官民連携推進 室 03 - 5501 - 8336

支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
	<p>や現地バイヤー等に、泡盛の積極的な PR を実施。</p> <p>また、本省では、在外公館から調達希望を受け、コンクール受賞酒等の日本産酒類を調達・送付。</p> <p>平成 29 年度から泡盛の調達・送付を開始。</p>	<p>にて積極的に泡盛に特化した PR 事業等を実施するよう指示。</p> <p>特に、泡盛の海外輸出先としてポテンシャルの高い地域（バンコク、上海、香港、サンフランシスコ、ホノルル、ロサンゼルス等）において現地政府要人、バイヤー・飲食業関係者、メディア等を対象とした各種 PR 事業を実施。</p>	<p>ス等で PR 事業をより効果的に実施するだけでなく、全在外公館に訓令を発し、PR 事業をより積極的に実施するように指示。</p> <p>泡盛 PR 事業実績例</p> <p>①6 月 11 日 在英国日本大使館にて開催された国際穀物理事会（IGC）70 周年レセプションにおいて、泡盛の PR を実施。</p> <p>②6 月 28 日～29 日 G20 大阪サミットにおいて、泡盛を提供。</p> <p>③3 月 7 日～9 日 在ロサンゼルス総領事館主催（於：ジャパン・ハウス等）にて、泡盛に特化した事業を実施。</p>	<p>題点等を踏まえ、在外公館等での泡盛 PR 事業をより効果的に実施。</p>	<p>※在外公館で泡盛を活用した PR 関係 大臣官房在外公館課 03-5501-8119</p> <p>※泡盛の調達及び在外公館への送付関係</p>

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
11	琉球泡盛のPR 【日本トランスオーシャン航空(株)】	泡盛の国内外・老若男女への普及促進へ向け、PR、プロモーション等他関係先・弊社グループ各社との連携も含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「國酒・琉球泡盛応援プロジェクト」組成。 ・「泡盛グランプリ」開催。 ・沖縄高専銘柄「香仙」とのコラボ企画および機内販売。 ・海外アンテナショップ(パリ)での沖縄フェア開催による泡盛の販路及び認知度拡大策。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京五輪前年というタイミングを生かしたスポーツ(空手)とのコラボによる普及促進。 ・同様にスポーツツーリズムとのコラボによるインバウンド誘致型による普及促進及び海外におけるプロモーション。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購買層拡大のため、泡盛系ドリンクのPR・販促展開。 ・沖縄の伝統文化とのコラボによる普及促進。 	【日本トランスオーシャン航空(株) 企業価値推進部】 098-857-3198
12	琉球泡盛テロワールプロジェクトの推進 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JAおきなわ、JA沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省政策統括官・農林水産技術会議事務局】	琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするためには、テロワール(地域に根ざした原料調達)が重要このため、泡盛製造業者と生産者のマッチングにより、県産長粒種米を使用した泡盛製造を推進	泡盛製造業者、米の生産地の市町村及び関係団体に向け、テロワールのメリットについて説明会を開催。沖縄総合事務局を中心にプロジェクト推進チームを設置し、泡盛製造業者の需要の把握、生産者を対象とした説明会を開催。	泡盛製造業者の需要を把握するとともに、長粒種米の生産に取り組む米生産者とのマッチングを推進。伊平屋村の二期作において、泡盛原料用の長粒種米を生産し、酒造協同組合を通じて酒造メーカーへ供給。 ・対象農家8戸	2019年度の取組を踏まえ、栽培手引きを作成・普及しつつ、二期作において泡盛原料用の県産長粒種米の生産を推進し、海外輸出を予定している酒造メーカーへ供給。 ・農家数 12戸	【内閣府沖縄振興局】 振興第二担当 03-6257-1668 【沖縄総合事務局】 農林水産部生産振興課 098-866-1653

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
				・収穫面積 10ha ・酒造協同組合への供給量 13t(精米)	・面積 16.9ha	
13	テロワール泡盛によるブランド力の向上 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合】	県産長粒種米により製造される琉球泡盛を活用し、海外での琉球泡盛の認知度を向上させるため戦略的なプロモーションを行う。	県産長粒種米（夢十色）による琉球泡盛約970リットルを製造。年度中は貯蔵し、2019年度以降の海外プロモーション等で活用。天候等のリスクを回避するため、別途熊本から購入した長粒種米（ミズホチカラ）による琉球泡盛60リットルを試験醸造「いいね！AWAMORI展」（沖縄大交易会併催事業）等でテイastingを実施。	県産長粒種米（夢十色、北陸193号、YTH183）による琉球泡盛1.8KLリットルを製造。県（国）産長粒種米による琉球泡盛を製造する事業者ヒアリングするなど、2020年度のブランド力向上に向けた情報収集等を実施。	県産長粒種米により製造される琉球泡盛を活用し、海外での琉球泡盛の認知度を向上させるため、海外酒類関係者やバイヤー等への戦略的なプロモーションを実施。	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総務部 098-866-0047 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
14	琉球泡盛の日本遺産への登録 【沖縄県】	日本遺産「琉球王国から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして芸	日本遺産登録に向けた関係機関との調整及び申請手続申請内容	・文化庁より日本遺産として認定され、琉球文化日本遺産推進協議会を設立。	広報ツールの作成や日本遺産ガイドの育成、シンポジウムの開催などをおして、歴	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		能」を活用し、歴史的、文化的な側面から泡盛の認知度向上を図る取組を行う。	「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」～「守礼の心」が育んだ食文化～	・高知日本遺産サミット及びツーリズムエキスポ大阪に泡盛ブースを設置し、日本遺産のストーリーと泡盛をPR。	史的、文化的な側面から泡盛の認知度向上を図る。	※泡盛関係 文化観光スポーツ部 文化振興課 098-866-2768 ※琉球料理、芸能関係

(5) 輸出環境の整備

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
1	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
2	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
3	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
4	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (海外展開貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	貸付先：海外展開事業を行う者 利率：基準利率～特別利率 貸付期間：設備 20 年、 運転 7 年	2018 年度泡盛事業者に対する融資実績：なし。	2019 年度泡盛事業者に対する融資実績：なし。	・各事業者の個別の資金需要に対応。 【新型コロナウイルス関連】 ・「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」支援	【沖縄振興開発金融公庫】 融資第二部中小企業第一班 098-941-1785

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		据置期間：設備・運転とも2年 貸付限度額：設備720百万円、運転250百万円			メニュー10と同じ。	
5	関税引下げ及び地理的表示の保護に向けた交渉 【外務省、国税庁】	各国・地域との協議や経済連携協定交渉を通じて、関税の引下げ及び地理的表示の保護に係る働きかけを実施。	各種経済連携協定交渉等を通じて、関税の引下げ及び地理的表示の保護に係る働きかけを実施。	各種経済連携協定交渉、日台貿易経済会議等を通じた関税引下げ及び地理的表示の保護の働きかけを継続		【外務省】 経済連携課 03-5501-8341 中国・モンゴル第二課 03-5501-8439 【国税庁酒税課】 03-3581-4161
6	米国における蒸留酒の容器・容量規制の緩和 【国税庁】	米国における蒸留酒の容量規制の緩和によって、国内では一般的な4合瓶等の流通を可能とするよう働きかけを実施。	引き続き、緩和の実現に向けた働きかけを継続。 ※米国政府ホームページに、規制の改正を検討している旨公表されている。	財務省及び外務省は、日米貿易協定に関連して作成された日本産酒類に関する交換公文に沿って、蒸留酒の容量規制の改正が行われるよう、米国に対して働きかける。		【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
7	米国における焼酎の 取扱いのレビュー 【国税庁】	ニューヨーク州及びカリフォルニア州において、飲食店が蒸留酒（泡盛を含む）を販売するためには全酒類免許が必要だが、24度以下のソジュ（韓国焼酎）については、ワイン免許で販売できる特例（州法）が設けられていることから、米国における焼酎（泡盛を含む）の取扱いについてのレビューやレビューを踏まえた働きかけを実施。		<ul style="list-style-type: none"> ・財務省及び外務省は、日米貿易協定に関連して作成された日本産酒類に関する交換公文に沿って、日本の焼酎の取扱いについてレビューが行われるよう、米国に対して働きかける。 ・財務省は、米国側レビューがなされ次第、当該レビューを踏まえつつ、米国の関係当局に対して働きかける。 		【国税庁酒税課】 03-3581-4161
8	米国における酒類のラベル承認手続の簡素化 【国税庁】	米国内での日本産酒類（泡盛を含む）の販売に当たっては、ラベル承認を受けることが必要となっているが、その際の承認手続の所要期間として半年程度かかるケース		<p>財務省及び外務省は、日米貿易協定に関連して作成された日本産酒類に関する交換公文に沿って、米国側が酒類のラベルの承認手続の簡素化に着実に取り組むよう、米国に働きかける。</p>		【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		があると承知していることから、承認手続の簡素化に向けた働きかけを実施。				
9	海外販路拡大に向けた支援窓口への誘導 【沖縄国税事務所、(独)日本貿易振興機構】	輸出に当たり、泡盛事業者へ輸出支援窓口である(独)日本貿易振興機構への誘導を行い、輸出の活性化を図る。	沖縄県酒造組合を通じて泡盛製造者に対して(独)日本貿易振興機構を紹介し、輸出支援窓口の活用を促した。	引き続き、沖縄県酒造組合を通じて、(独)日本貿易振興機構との輸出相談の活発化を促すとともに、泡盛事業者からの輸出に係る相談に応じて(独)日本貿易振興機構の窓口へ案内し、輸出に有効な情報の入手を支援することで輸出の活性化を図り、商流へ繋げるきっかけとする。	沖縄県酒造組合を通じて、(独)日本貿易振興機構との輸出相談の活発化を促すとともに、泡盛事業者からの輸出に係る相談に応じて(独)日本貿易振興機構の窓口へ案内し、輸出に有効な情報の入手を支援することで輸出の活性化を図り、商流へ繋げるきっかけとする。	【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601
10	酒類の品目の例外表示の改正 【国税庁】	泡盛の品目表示について、アルコール度数45度超の場合も可能とする改正。	—	泡盛の品目表示について、アルコール度数45度超の場合も可能とする改正案が、令和2年度税制改正の大綱に掲載。	泡盛の品目表示について、アルコール度数45度超の場合も可能とする改正法が4月1日に施行。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
11	<p>【中国】 第2者における「琉球泡盛」の商標登録への冒認商標無効・取消係争の手続き</p> <p>【沖縄県酒造組合】</p>	<p>当初、中国での商標について「地理的表示」を理由に登録申請が認められなかった状況だったが、2018年に「RYUKYU AWAMORI」として承認されてしまった状況があるので、その許可申請に対して、冒認商標無効・取消係争の手続きを進めるうえで、日本貿易振興機構（JETRO）の</p> <p>令和2年度 冒認商標無効・取消係争支援事業間接補助金を活用。</p>			<p>当初、中国での商標について「地理的表示」を理由に登録申請が認められなかった状況だったが、2018年に「RYUKYU AWAMORI」として承認されてしまった状況があるので、その許可申請に対して、冒認商標無効・取消係争の手続きを進めるうえで、日本貿易振興機構（JETRO）の</p> <p>令和2年度 冒認商標無効・取消係争支援事業間接補助金を活用。</p>	

(6) インバウンドとの連携

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	問い合わせ先
1	クルーズ船内での包括的プロモーション 【沖縄県酒造組合】	クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「泡盛講座」を開催し、泡盛への理解増進を図るとともに、泡盛の観光土産としての購入促進を図る。	ゲンティン香港の「ワールドドリーム」船内でプロモーションを実施。泡盛の試飲会や、泡盛レクチャーなどを数回開催し、泡盛の歴史的・文化的な説明とともに、泡盛カクテルなどの提供も行い、泡盛の購入機会の充実を図った。	大型クルーズ船内でゲストを対象に「泡盛講座」や「泡盛の試飲及び即売会」「コース料理と泡盛のマリアージュ」などの船内プロモーションを実施した。	・日本遺産を活用した酒蔵ツーリズム施策と連動したプロモーションを検討。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	地域性を兼ねた包括的 酒蔵ツーリズムの展開 【沖縄県酒造組合】	観光客を対象に、地域DMOとの連携施策を図った包括的な酒蔵ツーリズムに取り組む。	地域と酒造所を簡易的に取り上げた「島酒ツーリズム」のパンフレット作成を行い、地域と酒造所の親和性や結びつきを見出すことを発信してきた。	沖縄県内6エリアごとの酒蔵ツーリズム企画を展開し、地域と酒造所の組合せで、旅行会社などとの施策連携をしながら、地域ごとの島酒ツーリズムを展開した。	・各地域と各酒造所の繋がりを見出す酒蔵ツーリズム（島酒ツーリズム）のコンテンツの充実を図る。 各地域の酒蔵ツーリズム施策案を図りながら、オンラインとオフラインの施策を連携していく。各地域の差別化を図り、各地域の魅力を棲み分けしながら	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
					情報発信を行い、希望地域に回遊したくなる仕掛けをオンラインで行い、オフラインへの補完施策とする。また、サブスクリプション（定額制）などの活用により、地域の季節感をお届けする施策などとも連携を図りながら、地域活性の一助になるような施策を検討していく。	
3	海外航空会等への酒造所PR【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】	海外から沖縄に招聘する航空会社、旅行社、メディア関係者等に酒造所を視察してもらう。	ヨーロッパ圏からの旅行社及びメディア招聘の際の行程内に、県内酒造所見学実施。	インバウンド観光の魅力として、酒造所等の紹介による機内誌やメディア媒体での記事掲載を働きかけることを検討。		【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
4	泡盛振興推進部会・海外販路開拓WT【沖縄県、沖縄県酒造組合】	外国人観光客を中心とした海外における泡盛の売り方、見せ方、飲み方の提案等や現状の課題等について	平成30年8月2日に、①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を	WTを開催し、海外販路拡大に係る取組（クルーズ船等）や島酒ツーリズム、日本遺産（泡盛）の活用方法などに	泡盛の海外プロモーションについて、関係機関の意見を反映させ、より効果的な取り	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		て、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	実施した。その結果、酒造組合による海外出荷増に向けた調査分析【取組 No. (2)-1】の取組の推進に繋がった。	ついて意見交換を行った。	組みになるよう繋げていく。	098-868-3727
5	泡盛振興推進部会 ・クルーズ船関連WT 【沖縄県、沖縄県酒造組合】	増加する海外からのクルーズ船での泡盛普及促進や入港後の酒蔵ツーリズムへの誘導等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	平成30年8月2日に、①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を実施した。その結果、酒造組合によるクルーズ船内での泡盛プロモーション【取組 No. (6)-1】の実施に繋がった。	WTを開催し、海外販路拡大に係る取組（クルーズ船等）や島酒ツーリズム、日本遺産（泡盛）の活用方法などについて意見交換を行った。	泡盛の海外プロモーションについて、関係機関の意見を反映させ、より効果的な取り組みになるよう繋げていく。	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
6	訪日外国人による酒蔵訪問の受入体制整備 【観光庁】	訪日外国人旅行者の泡盛の酒蔵における滞在満足度向上を目的に、受入環境整備や滞在型コンテンツの検討等を行うことで、	対応マニュアル作成や通訳案内士等への講習会を通じ、酒蔵の外国人受入の準備を進めた他、訪日外国人向けモニターツアーを実施し、	2018年度の事業結果を踏まえ、酒造団体等と連携し、各地の泡盛に関する分かりやすい多言語解説文の整備を実施。	これまでの取組を踏まえ、泡盛の酒蔵見学ガイドツアー造成等、泡盛に関する酒蔵ツーリズム振興を関係機関とも連携しながら実施。また、新型コ	【観光庁】 観光資源課 03-5253-8924

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
		酒蔵ツーリズムの一層の推進を図る。	酒蔵案内時の課題を抽出。		新型コロナウイルス感染拡大防止策をガイドツアーに組み込むこととする。	

(参考) 泡盛酒造所の具体的な行動

- ・「3年後に倍増」計画を実現するため、泡盛酒造所は、2020年まで、それぞれ以下のとおり具体的な行動を行います。

事業名	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度
中国市場への展開	中国市場での泡盛出荷拡大を図るべく、高アルコール度数での展開を実施、同じ蒸留酒に馴染みの深い中国の上～中流階級層をターゲットに据え	中国市場に向けて、高アルコール度数での展開を実施と、あわせてインバウンドに向けての取り組みも実施。 中国市場向けに、琉球泡盛と琉球もろみ酢をセットにしたPRを実施。	北京・上海の国営企業等との大口販売契約の機会創出等を実施。 また、現地企業とのPB製品開発を提案。	2019年度の施策実施先を重点的に、中国沿岸部へ地域を広げ、販路開拓を実施。
アジア市場への展開	外国人観光客が自国に帰ってからも売り上げに繋がるようなシステム作り。 県内企業と現地営業を展開。	韓国を中心とした輸出がスタート。現地国での展示会出展の強化を始め、同行営業に力を入れている。 特に中国にはリキュールを中心に輸出が広がっている。	インバウンドでの波及効果を活用し、フードペアリングやインフルエンサーマーケティングを活用した認知度向上を図った。 認知度の高いジンの販売を通じ「原酒としての泡盛」を認知させ、ハードリカー愛好者（中流階級）向けの販路を構築。	クラフトウォッカの販売を通じ「原酒としての泡盛」を認知させ、ハードリカー愛好者（中流階級）向けの販路を構築。
欧米市場への泡盛の展開	欧米市場への、ハードリカーとしての泡盛の展開を図るべく、ボトル等の制作、プロモーション、情報発信の強化を行う。	オリジナルボトルを製作し、アイスランドを中心に輸出を展開。 アイスランドでカクテルコンペを開催し、泡盛セミナーも実施。ベルギーなどでも泡盛セミナーを開催した。	アイスランドにおける取組をオランダ、イギリスへ展開。 ドイツ、北欧3国、Beneluxへも同様の取組を検討。 北米にて、ウチナーンチュネットワークや沖縄発の世界	2019年度の施策をドイツ、北欧3国、Beneluxへ地域を広げ、販路開拓を実施。

事業名	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度
			<p>ブランドである「空手と泡盛」の関係性等を活かしたプロモーションを実施。</p>	
<p>泡盛カクテルレシピ開発及びレストラン展開</p>	<p>北米市場での泡盛出荷拡大を図るべく北米のバーテンダーに依頼して泡盛ベースのカクテルを作成。現在3店舗でメニュー掲載。イベント開催、レストラン内での泡盛（沖縄）セミナーを通じてAWAMORIを飲酒シーンに入れ込む。</p>	<p>北米地区に展示会参加。北米最大手問屋との業務調整を実施。 樽貯蔵リキュールを北米へ輸出がスタート</p>	<p>欧米等のバーテンダーにて、泡盛ベースのカクテル、また、料理と一緒に泡盛カクテルを提供するためのレシピブックを制作。 地域の魅力、食の体験を発信することを目的としたイベント「DINNINGOUT」を開催。作成されたレシピは県内ホテル及び協力頂いた飲食店への提供。</p>	<p>2019年度の施策をドイツ、北欧3国、Beneluxへ地域を広げ、販路開拓を実施。</p>